

中国電影大観



花都大戦 ツインズ・エフェクトⅡ

(千機變Ⅱ花都大戦 / THE HUADU CHRONICLES: BLADE OF THE ROSE/THE TWINS EFFECT 2)

2005(平成17)年10月9日鑑賞<ウウラク座>

監督=コーリー・ユン / パトリック・レオン / 出演=房祖名 / 成龍 / 蔡卓妍 / 鐘欣桐 / 甄子丹 / 梁家輝 / 陳柏霖 / 翟穎 / 吳彥祖 / 陳冠希 / 范冰冰 (AMG エンタテインメント配給 / 2004年香港映画 / 106分)

第2章

ハリウッドに与えた影響大!

……ジャッキー・チェン Jr. のデビュー作だが、私には「TWINS」のアイドル美女2人が扮するブルーとフラワーの方に興味シンシン……。そのうえ、ある事情からすべての男を奴隷にってしまった女人帝国の女帝やブルーのライバルのレッドも相当な美女。彼女たちを中心にジャッキー・チェンが後継者として育成中の若手イケメン俳優や芸達者なベテランたちが脇を固めたアクション歴史絵巻(?)は楽しさいっぱい! 神秘のエクスカリバーの剣(?)を手にするのは誰、そして皇帝星となって女帝を倒すのは誰……。理屈抜きに楽しもう……。

🗡️ テーマはエクスカリバーの剣

エクスカリバーの剣をテーマとし、アーサー王伝説を本格的にとりあげたのが『キング・アーサー (KING ARTHUR)』(04年) (『シネマルーム6』117頁参照) だが、韓国映画『千年湖』(03年) も韓国版のエクスカリバーの剣をモチーフとした映画。そしてこの『花都大戦 ツインズ・エフェクトⅡ』も少しそのテーマをパクった(?) もので、宝の地図が彫られた秘密の石板には、皇帝星だけが手に行ける神剣の所在が示されていた。

さて、この神剣を手にするのは誰なのか、それがこの映画のテーマ。

冒頭は新旧男性俳優から

映画の冒頭は、何者かがひそかにこの石板を剥がして盗んでいくシーンから。この若者タオこそ、あの『インファナル・アフェア』3部作（02～03年）で若き日のアンディ・ラウを演じて世界的に注目されたエディソン・チャン（陳冠希）。そしてこのタオの脱出を助ける剣士ジェネラル・ローンこそ『HERO（英雄）』（02年）でヤリの名手長空^{チャン・ゴン}を演じ、『SEVEN SWORDS セブンソード（七剣）』（05年）で楚昭南^{チュウ・チャオナン}を演じた甄子丹^{ドニー・イェン}。女人帝国からの追手の追及を逃れたジェネラル・ローンが民衆たちにばらまいたビラには、「両生の花が開く時。皇帝星が現れ、陰と陽が逆転し天下が乱れる」と書いてあった。ジェネラル・ローンはこの石板をゲットすることによって神剣を手にし、皇帝星となるべき前王朝の末裔を探し求めていたのだった……。

続いては、2人の美女対決！

女人帝国では男はすべて奴隷とされていたから、奴隷商人という商売が成立していたらしい。そこで登場するのがかわいい顔に似合わず（？）銭勘定にきびしい、奴隷商人のスプリング（シャーリーン・チョイ）。せっかく連れてきた若いイケメン奴隷を言葉巧みに高値で販売しようとしていたところを、ジェネラル・ローンによる石板強奪騒動に巻き込まれたうえ、ジェネラル・ローンによって奴隷の鎖を切られてしまったから、スプリングは大損を……。

そんな中でスプリングが見つけたのが、奴隷を連れているブルー（ジリアン・チョン）。スプリングははっきりこのブルーが奴隷を盗んだものと勘違いしたため、ブルーとの間で女同士のカンフー対決が……。奴隷商人という身分が明らかなスプリングに対して、この時点ではブルーは何者かよくわからない神秘的な立場。そしてこのブルーを演ずるジリアン・チョンは若いときの大地真央そっくりでスタイル抜群の美女！ スプリングも奴隷商人にしてはかなり強そうだが、見ていると、トータルとしての腕前はやはりブルーの方が上で、適当にあしらっている感じ。しかしその結末は……？

女人帝国成立のナゾは……？

邪馬台国の成立については畿内説と九州説があるが、卑弥呼という女性（女帝）の

存在自体は歴史的にまちがいのない事実。それと同じように (?)、古代中国にはアーゴ (チュー・イン) を女帝とする女人帝国があった、らしい……？ その女人帝国が成立したのはナゾでも何でもなく、神サマがこの世にアダムとイブという一对の男女を誕生させて以来今日までずっと続いている、男女間のモメ事すなわち「三角関係」。具体的にいえば、双子の姉妹の姉であったアーゴはもともと権力など見向きもしない性格だったが、相思相愛の仲にあった男性ワイ・リュ (ダニエル・ウー) がまちがえて妹のアーティと愛し合ったという事実 (疑惑) からコトは大ゴトに……？

これで怒り狂い、「男なんて不潔！」と思い込んだアーゴは、父親である皇帝を暗殺して王座を奪い、女人帝国をつくりあげたというわけだ。当然妹のアーティにはきびしい処罰が下され、彼女は今は宮廷の地下洞窟の岩肌の中に幽閉されてしまっている。

他方、元カレのワイ・リュは「それはあくまで誤解だ！」と主張して、生涯アーゴへの忠誠を誓うとともに、自ら宦官となり、今では女人帝国の中のただ1人の男性 (?) として、女帝の側近となっている。

「犬將軍」と呼ばれた徳川5代將軍綱吉が人間よりも犬を大切にしようとして、1人の権力者が1つの偏向した思想や価値観あるいは趣味をもつと、その国民は大変な迷惑をこうむるもの。

元カレの裏切り (?) によって男を忌み嫌うようになった女帝アーゴは、男はすべて奴隷にすると宣言した。そして、男はあくまで生殖の道具としては認めるものの、男女間の恋愛を一切禁止した。そのうえ、ある種の実験 (魔法) をくり返す中で、一瞬にして男を女の肉体に改造することに成功……？ その実験の犠牲となったのが今は旅芸人一座の座長をしているブラックウッド (レオン・カーファイ) だ。彼が、ある時ある場所で自ら見せた彼の肉体は……？ そして物語のラストで明らかになる、ちょっと太め (?) の彼の元カノは……？

「TWINS」の2人以外にも美女が……？

スプリングとブルーの2人は香港のトップアイドルデュオ「TWINS」のメンバーで、この映画の前作『ツインズ・エフェクト』(03年)にも主演していた可憐な美女。

しかしサービス精神旺盛なこの映画は、この2人以外にもかなりの美女を登場させている。その第1は女帝アーゴを演ずるチュー・イン。彼女はちょっと怖いキャラク

ターになっているものの、根は超美人。だって彼女は中国本土のスーパーモデルの出身で、それまで鞏俐コン・リーばかりを主演に起用していた張藝謀チャン・イー・モウ監督が『キープ・クール（有話好好説）』（97年）（『シネマルーム5』206頁参照）ではじめてこのチュー・インを起用して注目をあびた女優。

さらに、実はブルーはこの女帝の密使だったのだが、同じく女帝の密使であり大きな野望を持ったレッド（ファン・ビンビン）も、『芙蓉鎮』（87年）や『乳泉村の子』（91年）に出演した若手美女。これだけ美女のオンパレードとなれば、楽しくないはずがない……。

主役は一応ジャッキー・チェン Jr.……？

この映画の最大の売りは、今や次世代育成にも熱を入れている大俳優ジャッキー・チェンの息子であるジャッキー・チェン Jr. が映画に初出演すること。しかも親子の初共演ということだ。映画のストーリー構成上、神剣を手にするのはこのジャッキー・チェン Jr. 演ずるチャーだから、一応主役はこのジャッキー・チェン Jr. だが、実際はそれほどでも……。

おじさん対決は付録……？

息子の初出演だからおやじのジャッキー・チェンはもちろん共演したかったに違いないが、あまり目立っては嫌がられるかも……？ そこで工夫したのが、主役は若いモンに譲るものの、一カ所だけはおじさんの見せ場も……。というわけでジャッキー・チェンが登場するのは、神剣を守る鎧の神ウェイチャンの役柄。彼は神剣を求めて洞窟内に入り込んできた剣士ジェネラル・ローンと対決するが、神剣が無事チャーの手に渡ったことを見届けるや、再びもとの鎧の神に逆もどり。このように妙に出しゃばらず、付録役に徹しているのはさすが、後継者育成と息子思いの父親ジャッキー・チェンと感心……。

あなたの目当ての若手イケメンも……？

若手イケメン俳優の1人は前述のタオだが、同じくイケメン俳優であるタオの友人がジャッキー・チェン Jr. 演ずるチャーとコールの2人。このコールを演ずるチェン・ポーリンは『藍色夏恋』（02年）や『最後の恋、初めての恋』（03年）に出演し、近々

公開される『アバウト・ラブ／關於愛』（05年）では今をときめく八頭身美女の伊東美咲と共演する香港の若手 No.1 のイケメン俳優だ。

チャーもコールも元は奴隷だったのだが、今は奴隷の身から逃げ出して、ブラックウッド率いる旅芸人の座員として活躍（？）中。さてこんな2人はストーリーの中でどんな役割を……？

4人のドタバタ旅行を楽しもう！

タオから秘密の石板を預かったチャーとコールの2人は、ジェネラル・ローンとともにそこに記された地図に従って神剣を求めに行くはずだったが、お人好しで単純な2人はまずはスプリングに、続いてブルーに騙されてこの2人とともに宝探しの旅に出ることに……。

ちょっと口ひげをつけたスプリングに、「私がジェネラル・ローンだ」と言われて騙される2人もちょっとバカだが、そこにブルーが加わって、「私がジェネラル」「私がローン」「2人あわせてジェネラル・ローン」と言われてまた納得するのは、相当なバカ……？

そしてそこから始まる宝探しの旅は、暴狼族の出現や洞窟族の出現を含めて、ドタバタの連続。それをここで逐一紹介するのはヤボというもの。それは映画を観てのお楽しみに……。

やっぱり理想は男と女の真実の愛……？

女人帝国のアンチテーゼは、やはり男女間の真実の愛……。そんな難しいことを言わなくても、男2人女2人で長い旅を続けその中でさまざまな試練にめぐり合えば、自然に芽生えてくるのが男女間の愛……？

もともと、もともと2人の女の方が圧倒的に上位の立場にあるから、そうスナリとはいかないが、そこらあたりの恋のかけひきと成り行きも、この映画の大きな見どころの1つ……？

さらに面白いのが、この美男美女による本線ともいえる恋愛模様に対して、ちょっと横道で暗示されるアブノーマルな恋愛模様。その1つが女帝アーゴと側近のワイ・リュであり、もう1つがブラックウッドと女帝配下のバウマン将軍との恋。その恋の成り行き（？）にも注目を……？

神剣 vs. 女帝との対決は……？

この映画の見どころは、神剣を手に入れ皇帝星となったチャーを中心に結成された反女帝反乱軍 vs. 女人帝国正規軍との戦い……。それはあの『ロード・オブ・ザ・リング』3部作を彷彿とさせる大スペクタクル戦闘シーン……。となりかけるのだが、残念ながらそれはある事態の発生によって中止。

そのかわりに (?)、宮殿での女帝 vs. チャーとコールとのちょっと変わった対決が実現することに。

そしてそこには、既に女帝の捕らわれの身となっているあの2人の美女スプリングとブルーが意識を奪われた状態でチャーとコールに立ち向かってくるが、この間においてはあのベッピン顔が台無しとなっているのが少し残念……？

しかしいずれにしても、その結論の行方は賢明な読者にはわかっているはず。したがって興味の対象は、一体どのようにしてこの女人帝国が滅亡していくのかという過程……。それはローマ帝国の滅亡ほど複雑ではなく、きわめて単純にあっけなく滅亡していくから、あまり堅苦しく考えることは無用……。

そしてもう1つの興味の対象は、女人帝国が滅亡した後、新しい王朝の皇帝となったのは誰か、そしてその皇后となったのは誰かということ。そんな点にも十分注目を……。

2005(平成17)年10月11日記